

## ■活動内容

「ちょっと助けてほしいなあ」と「私にできることなら」がつながって、日々の暮らしをお手伝いする“たすけあい活動”です。特に、「困っているけど、頼む人がいない」という方々のお手伝いをしています。

お手伝いの内容としては、話し相手・ゴミ出し・おでかけ支援(通院・買い物・銀行・外出など)・家の掃除や片付けなど。

基準や対象は決めず、オーダーメイドで一人ひとりの困りごとや、さみしさに寄り添う活動をしています。



■団体名	たすけあい中野
■参加者	たすけあい中野 生活支援サポーター
■活動拠点 連絡先	中野コミュニティセンター（東近江市中野町781-5） 中野ヴィレッジハウス（東近江市東中野町5-21） TEL:090-2044-3352（相談専用電話）

## ■活動のきっかけ・実現までの経緯

平成25年度に東近江市社協が開催した『生活支援サポーター養成講座』を受講したメンバーで、講座後に『生活支援サポーター懇談会』を開催。「中野地区にどんな困りごとがあって、自分たちには何ができるのか」を、3歩進んで2歩下がりながら、ゆっくり、活動のイメージを共有してきました。

そして、「一人では何もできない、仲間と話し合い、助け合いながら活動していこう」と、平成28年1月16日に『たすけあい中野』を設立しました。

設立にあたっては、中野地区まちづくり協議会、中野地区社会福祉協議会、中野地区自治会連合会、東近江市社会福祉協議会などにご支援いただき、活動をスタートしました。



## 利用者さんの声

- ・お手伝いをしてもらっていること以外にも「困ったことがあれば、連絡してください」と言ってもらえるのが心強くありがたいです。
- ・送迎をお願いしていますが、車中でのおしゃべりも楽しいです。
- ・みなさん親切で、ちょっとしたことだけど、相談すると気持ちが楽になります。

## 活動者の声

- ・「ありがとう」と言ってもらえることがうれしく、活動の励みになっています。
- ・自分のできることが、暮らしのお役に立てることが自分の充実感や満足感につながっています。
- ・気になっていた人へ声かけができるようになり、仲間と知恵を出し合えば何とかなると感じています。
- ・将来、自分が助けてもらっ側になった時のために、この活動を続けていきたいです。

## ■活動に対する思いや目標、継続するノウハウ

『たすけあい中野』が何もかもするのではなく、その人がこれまで培われてきた家族や近隣住民のつながりを切らないことを心がけています。また、無理し過ぎないように、たすけあい中野ではできないこと、他の支援の方が良いことは、本人の状況を確認した上でつなぐようにしています。暮らしの困りごとを解決するだけでなく、その方の暮らしがより豊かになることを大事にしています。

住民同士が「お互いさんでたすけあう心」を広げて、新たな仲間を増やしていきたいです。